



2019年12月期

決算説明会

2020年2月19日

SBSホールディングス株式会社

■ 目次

■ 2019年度12月期 決算概要 及び 2020年度12月期の見通し

■ 2020年度 グループ経営について

**2019年12月期
決算概要
及び
2020年12月期の見通し**

執行役員財務部長 遠藤 隆

19年12月期 連結業績 [対前期比]

2

(単位:百万円)

	18年度通期		19年度通期			
	実績値	構成比	実績値	構成比	増減額	増減率
売上高	203,516	100%	255,548	100%	52,031	25.6%
営業利益	8,240	4.0%	10,176	4.0%	1,935	23.5%
経常利益	7,607	3.7%	10,172	4.0%	2,564	33.7%
当期純利益	4,409	2.2%	6,079	2.4%	1,670	37.9%

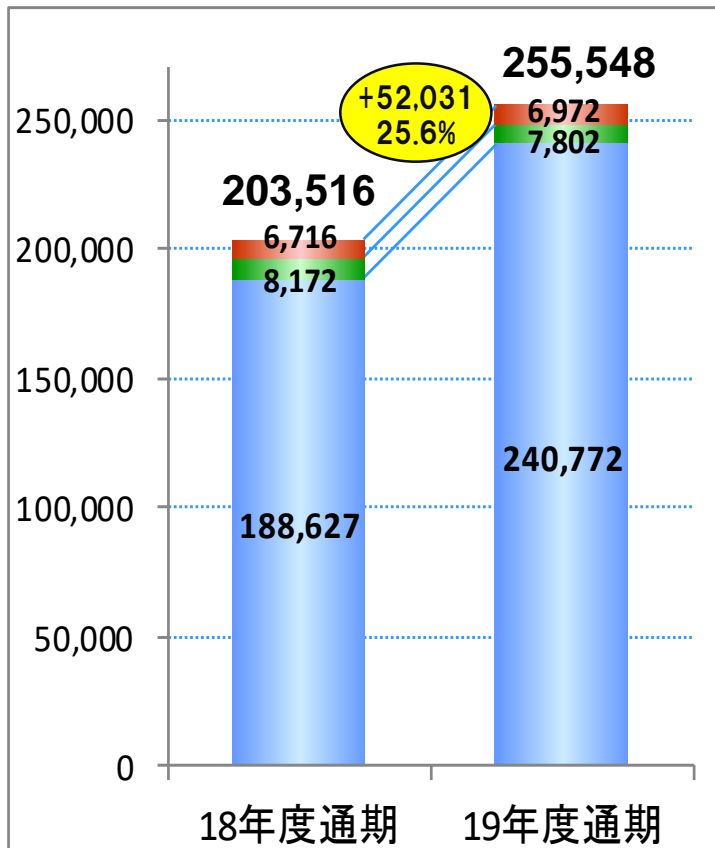
19年12月期 連結業績 [対予想比]

(単位:百万円)

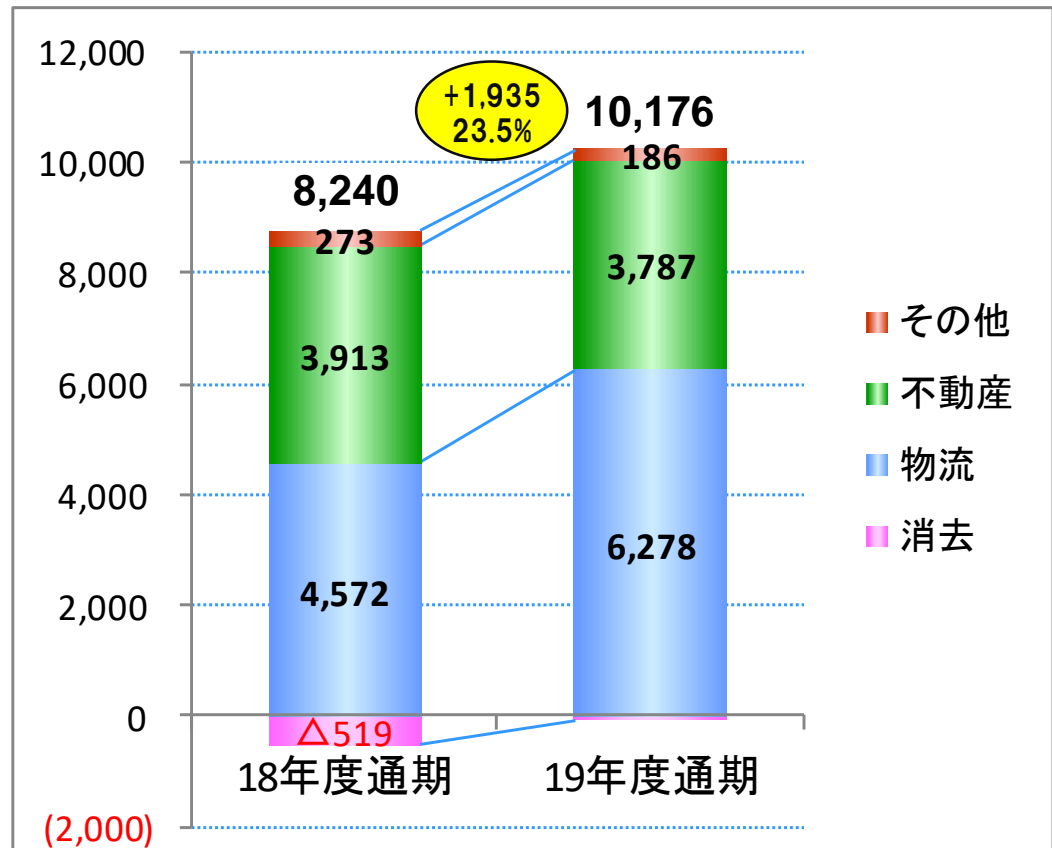
	19年度通期					
	予想値	構成比	実績値	構成比	差異額	達成率
売上高	255,000	100%	255,548	100%	548	100.2%
営業利益	9,800	3.8%	10,176	4.0%	376	103.8%
経常利益	9,500	3.7%	10,172	4.0%	672	107.1%
当期純利益	5,700	2.2%	6,079	2.4%	379	106.7%

セグメント別業績 [対前期比]

連結売上高 (単位：百万円)

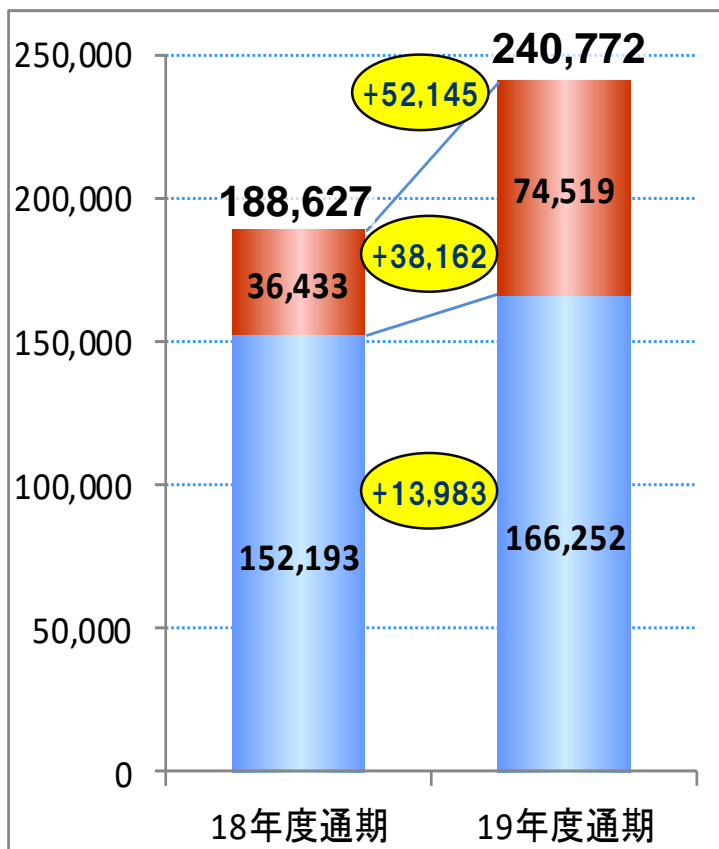


連結営業利益 (単位：百万円)

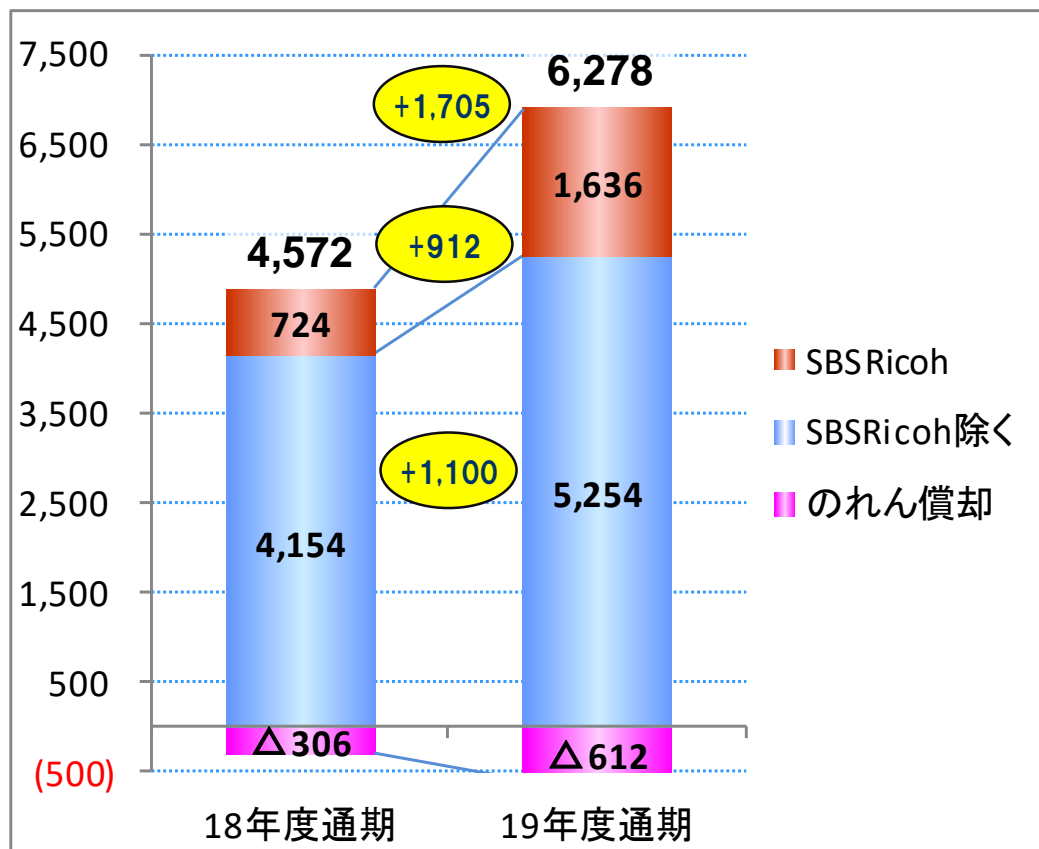


- その他
- 不動産
- 物流
- 消去

連結売上高 (単位：百万円)

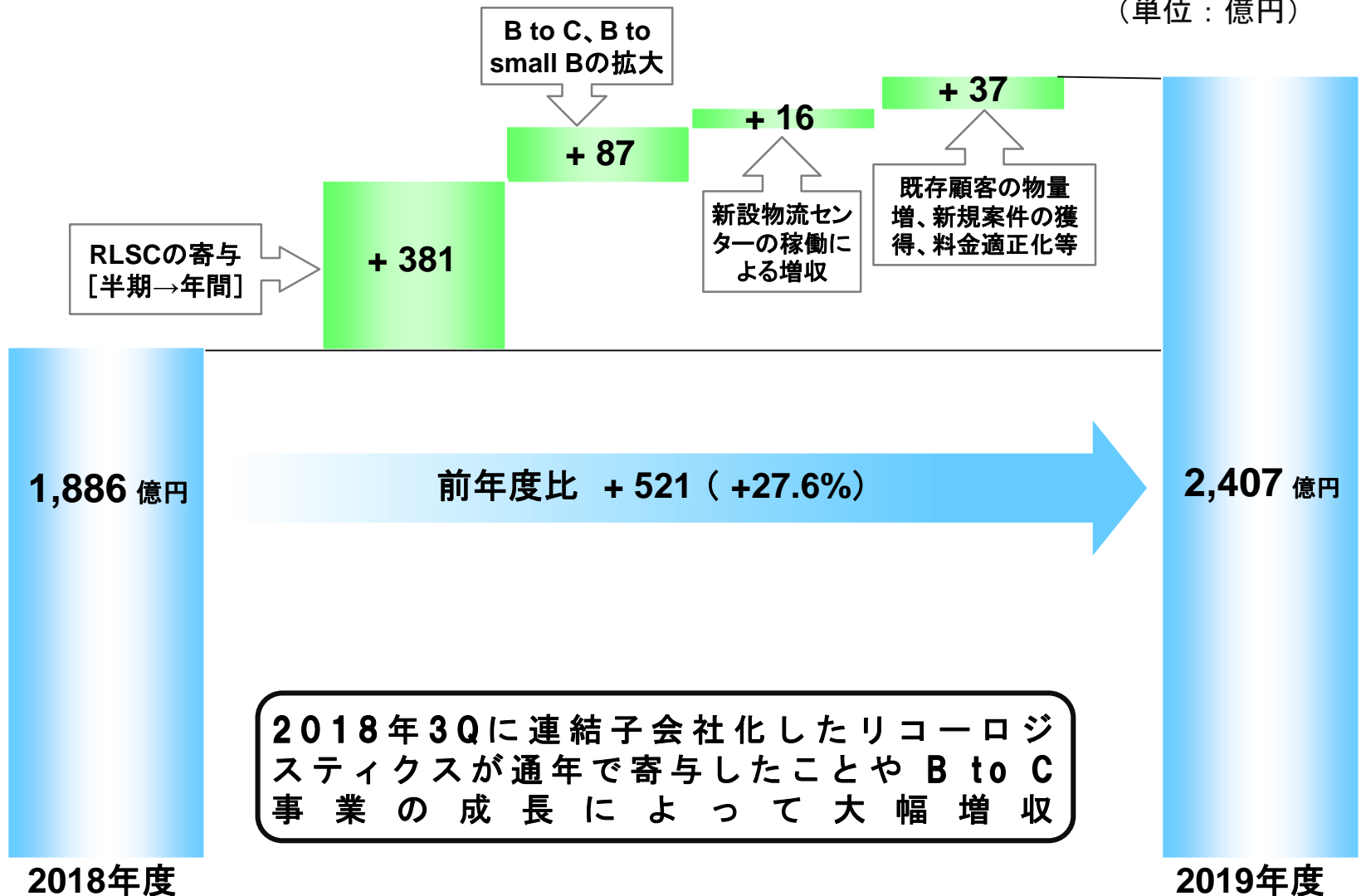


連結営業利益 (単位：百万円)



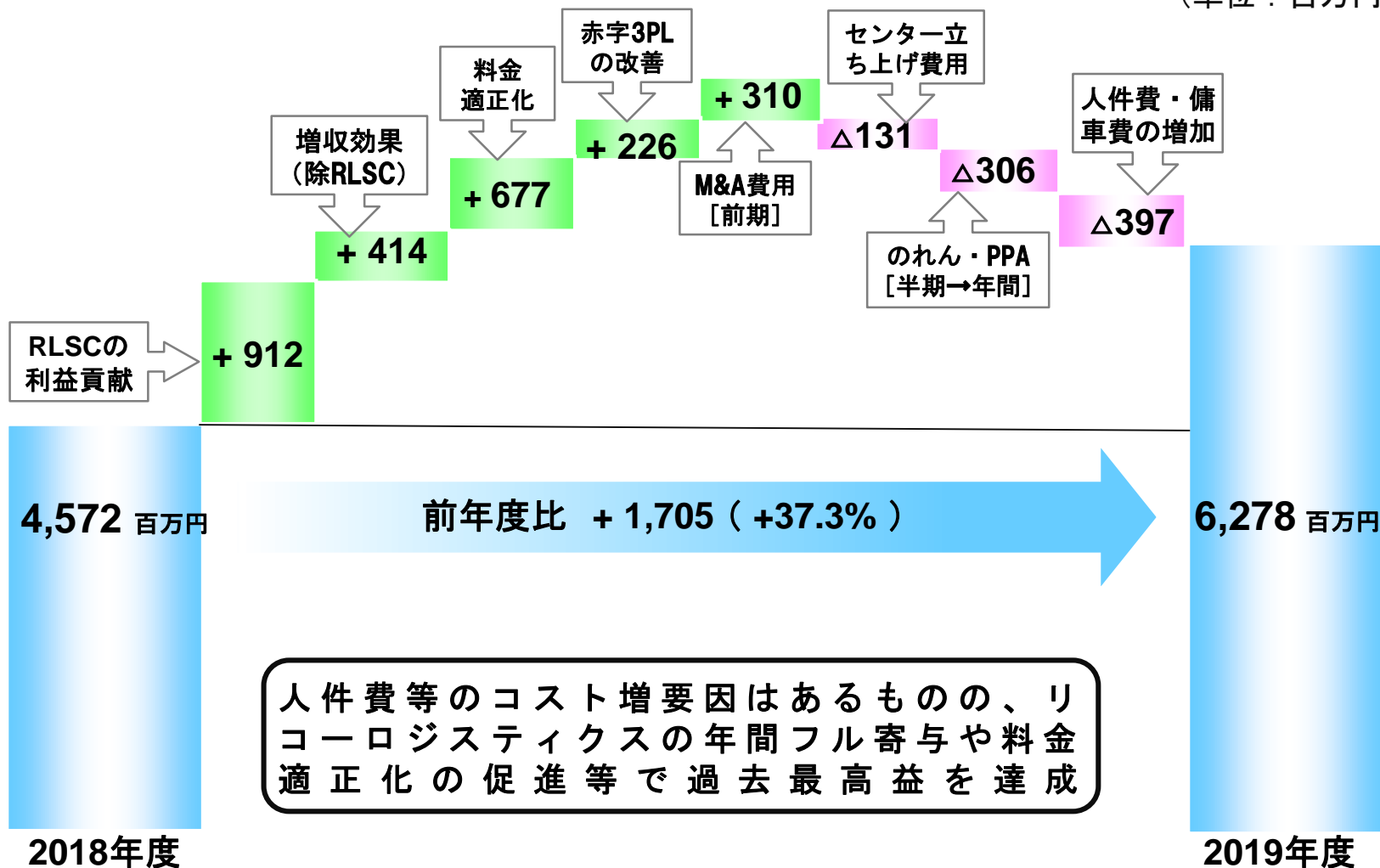
物流セグメント売上高 [増減分析]

(単位：億円)

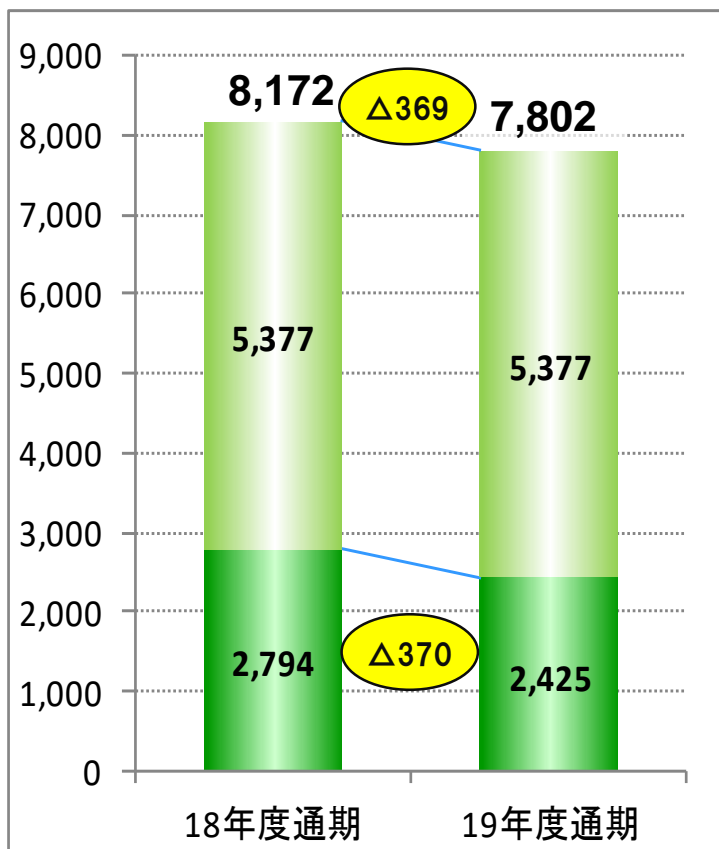


物流セグメント営業利益 [要因分析]

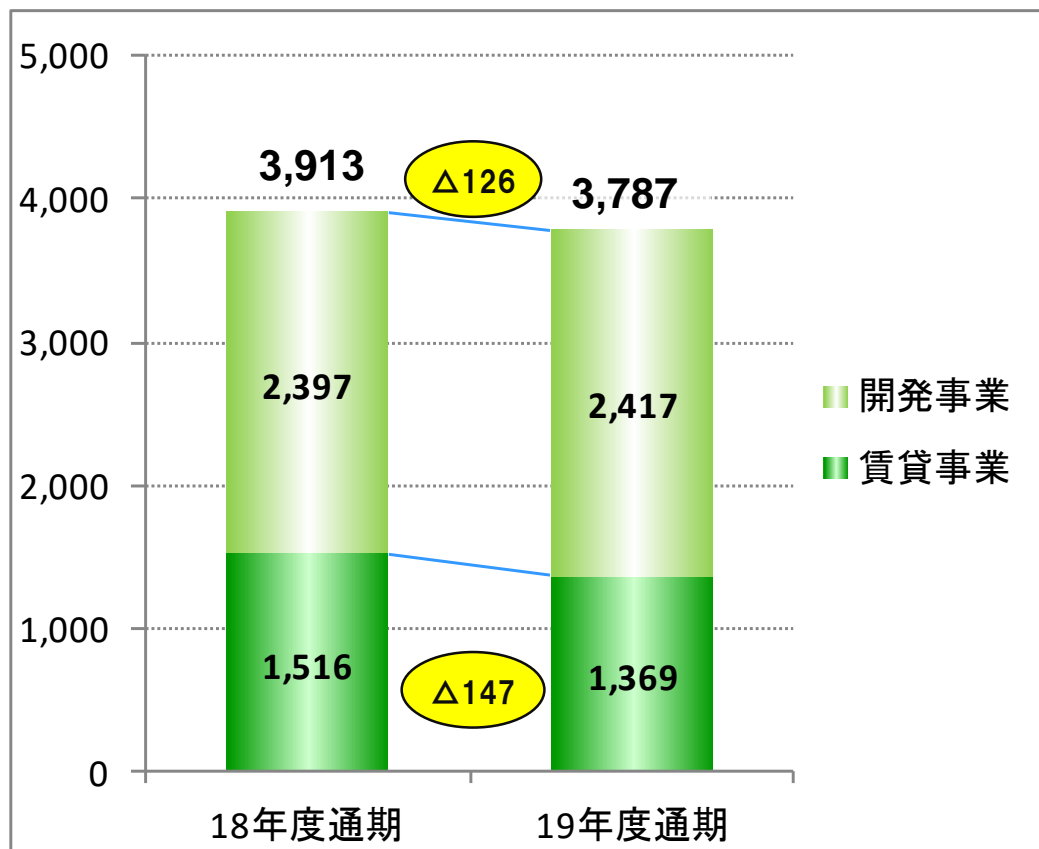
(単位：百万円)



連結売上高 (単位：百万円)



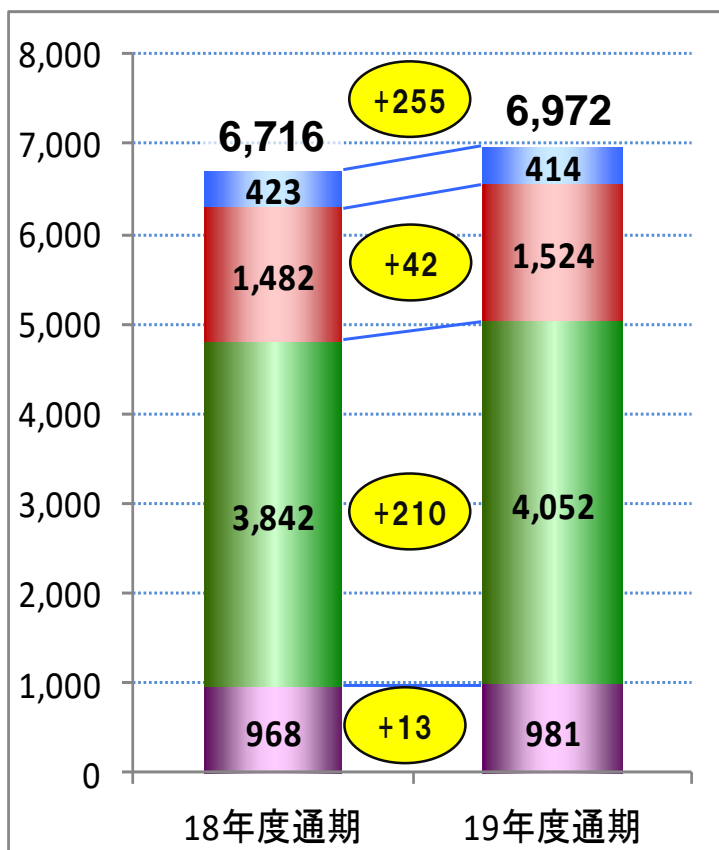
連結営業利益 (単位：百万円)



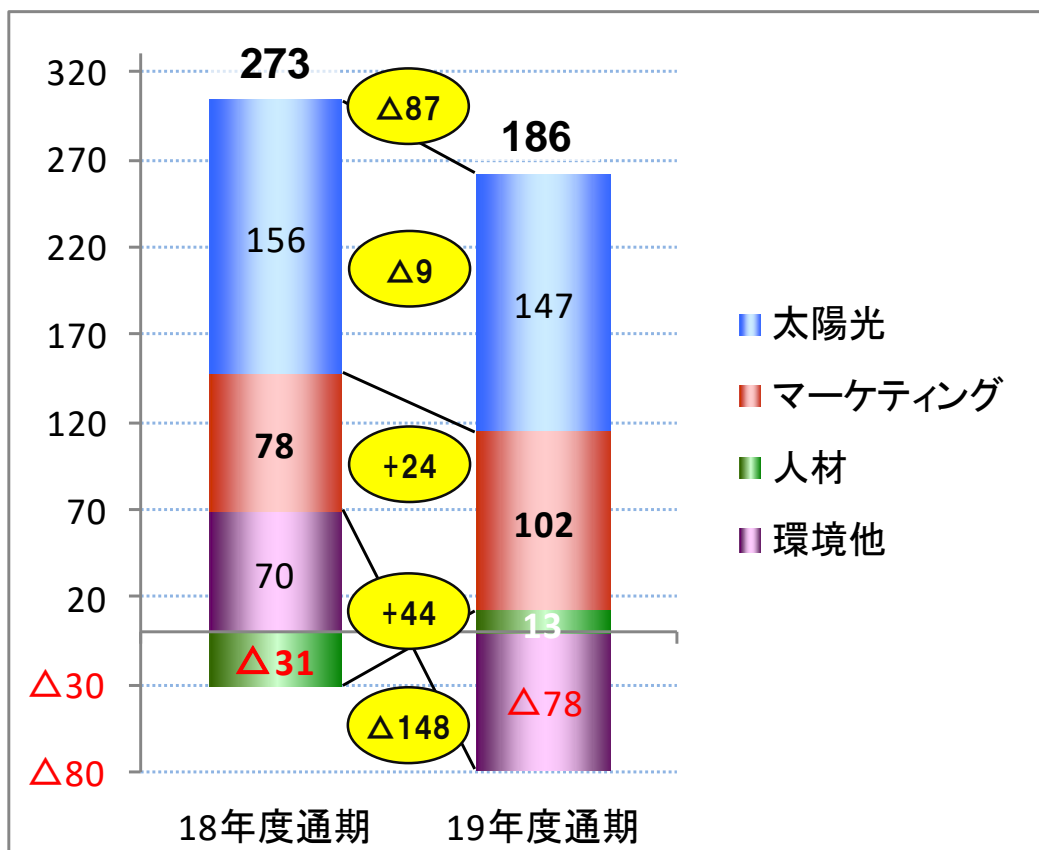
※ 開発事業：物流施設を建設し機関投資家等に売却（流動化）する事業
 ※ 貸貸事業：保有する物流施設、オフィスビル、レジデンス等を賃貸する事業

■ その他セグメント [売上高・営業利益]

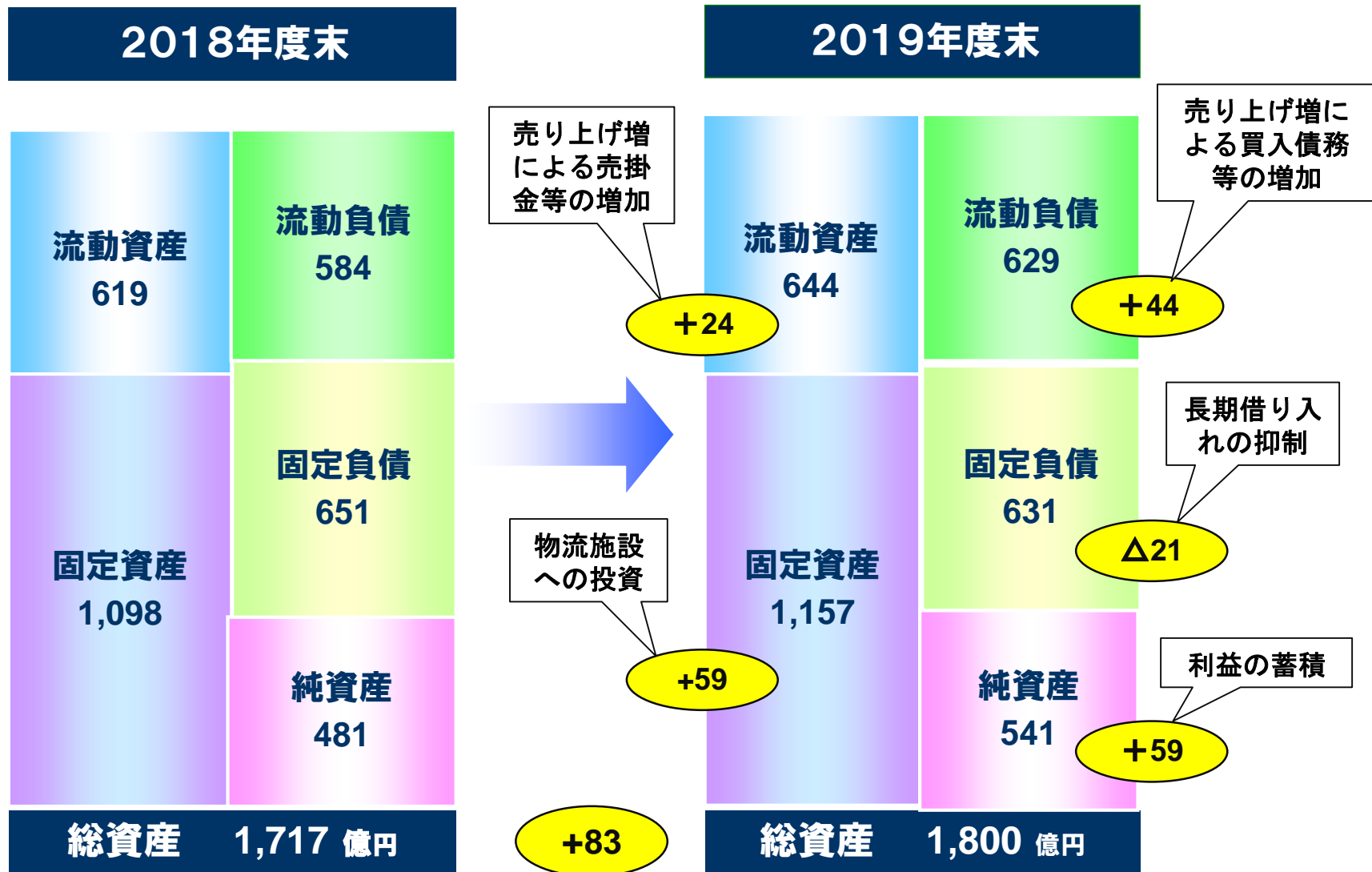
連結売上高 (単位：百万円)



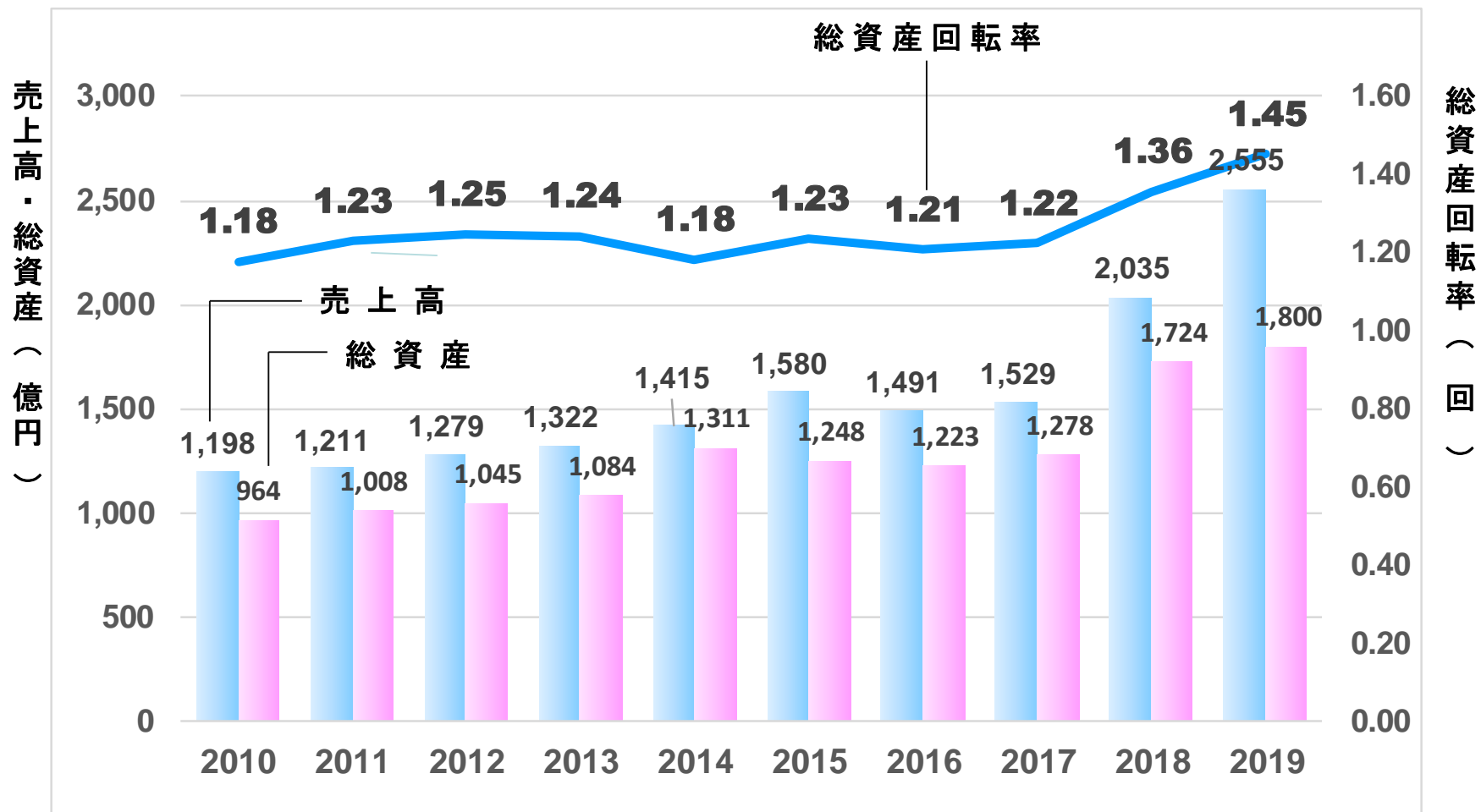
連結営業利益 (単位：百万円)



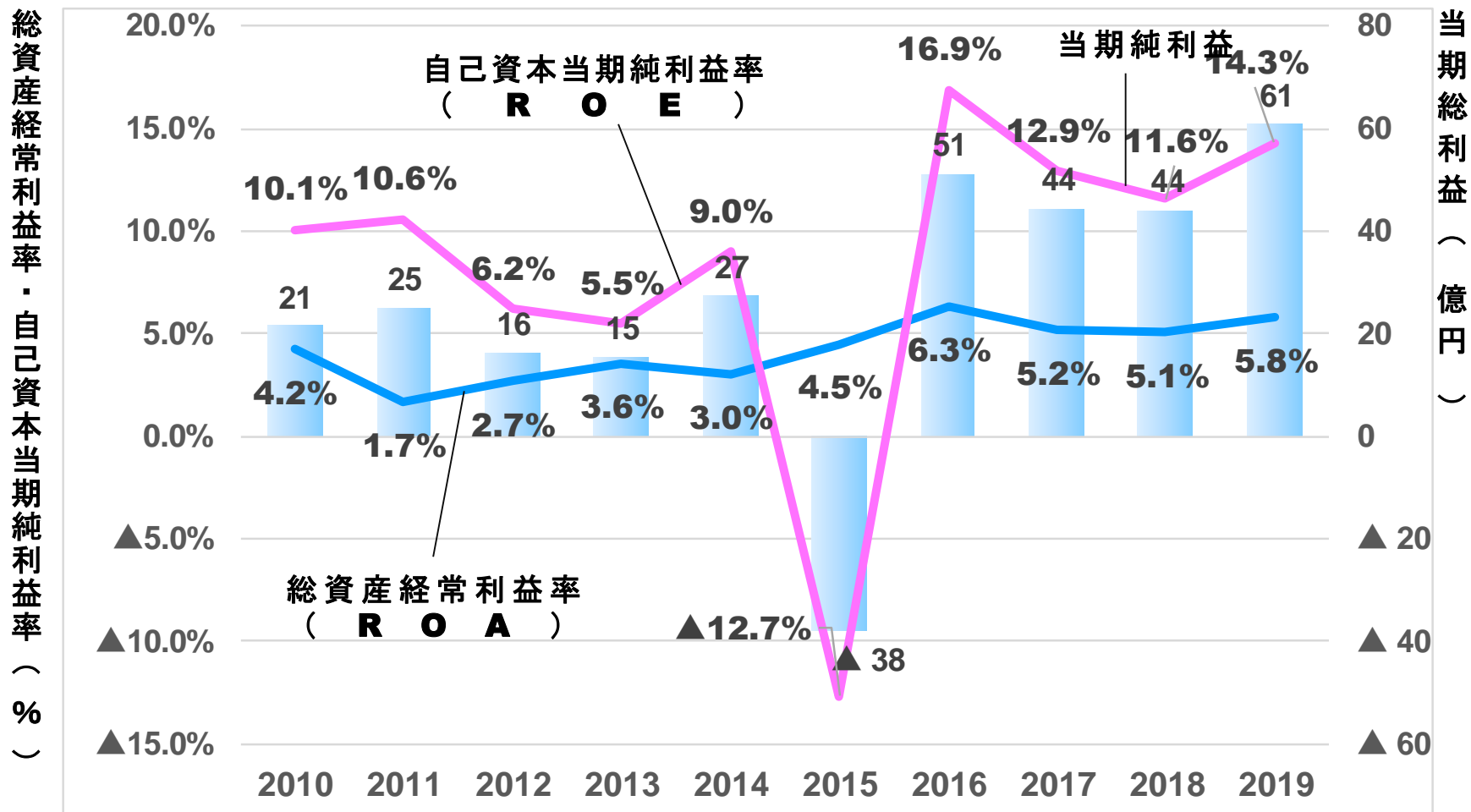
連結貸借対照表 [対前期末比]



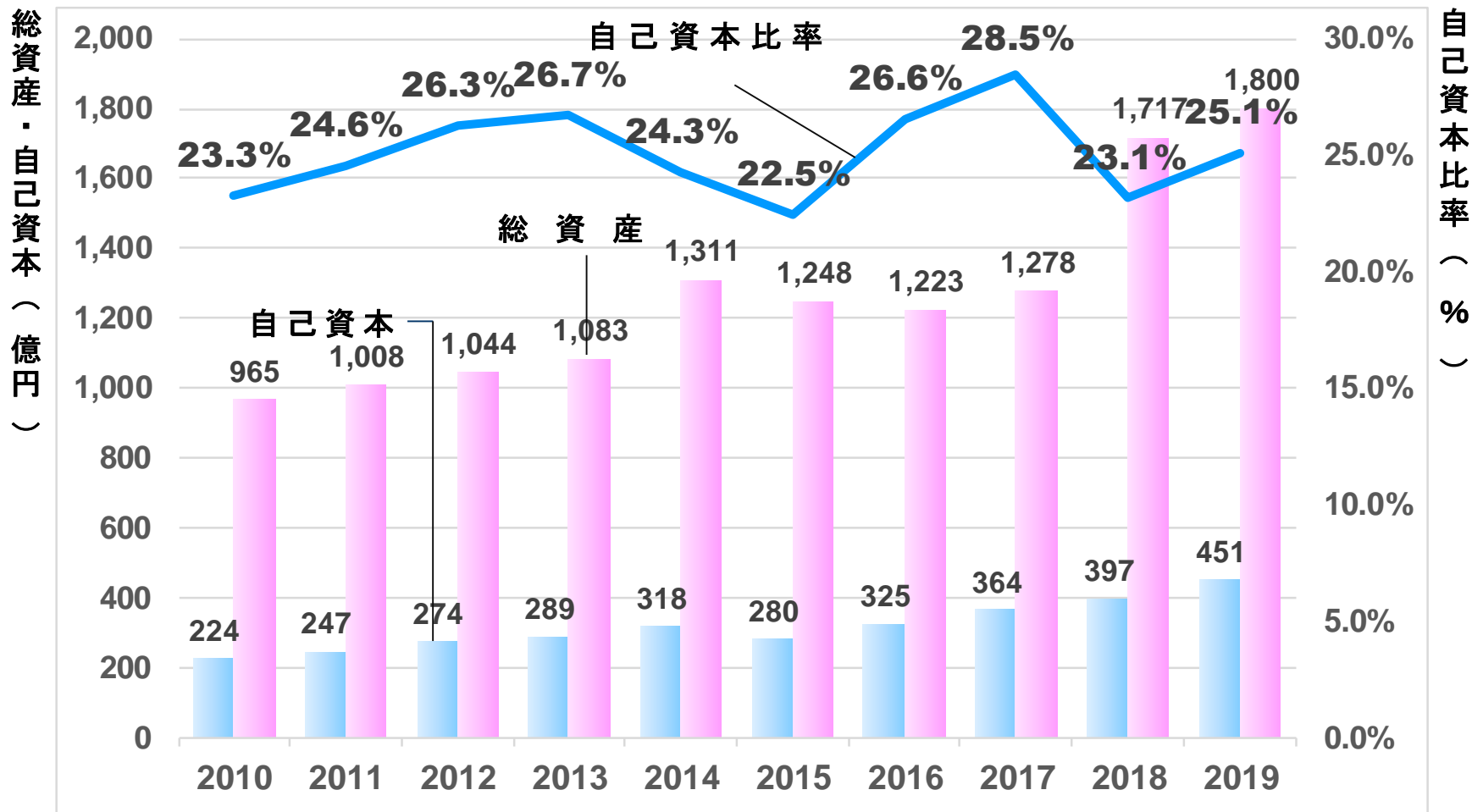
M&A等により資産規模が拡大するも、総資産回転率は改善



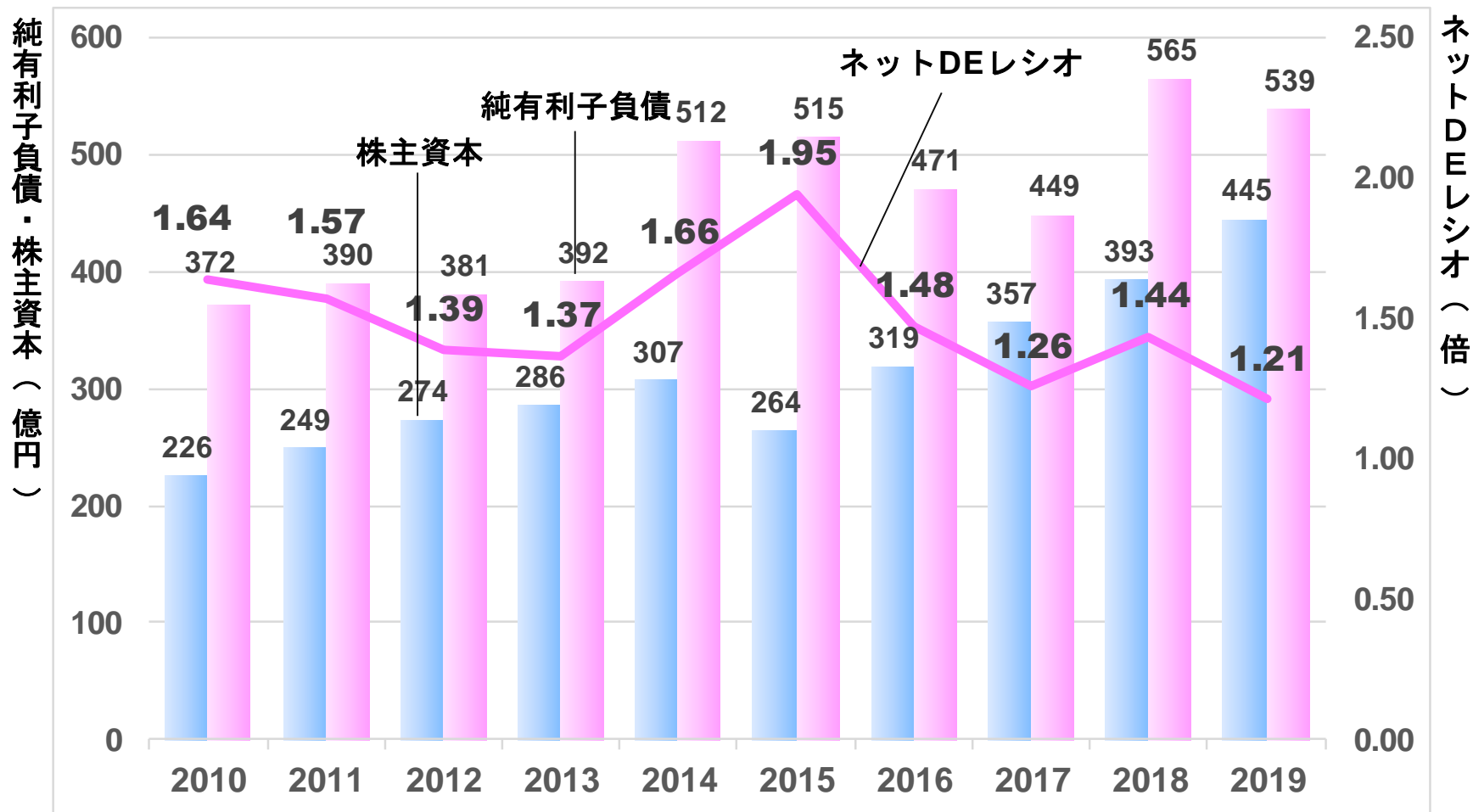
2016年度にV字回復後、ROEは10%超の水準を維持



2018年度は大型M&Aにより低下したが、改善に転じる



2015年度以降、利益の蓄積により低減傾向



(単位:百万円)

	2019年度		2020年度			
	実績値	構成比	予想値	構成比	増減額	増減率
売上高	255,548	100%	265,000	100%	9,451	3.7%
営業利益	10,176	4.0%	11,200	4.2%	1,023	10.1%
経常利益	10,172	4.0%	11,000	4.2%	827	8.1%
当期純利益	6,079	2.4%	6,500	2.5%	420	6.9%

(単位:百万円)

セグメント		19年度通期 実績値	20年度通期		
			予想値	増減額	増減率
物流	売上高	240,772	248,000	7,228	3.0%
	営業利益 利益率	6,278 2.6%	6,600 2.7%	322	5.1%
不動産	売上高	7,802	9,500	1,698	21.8%
	営業利益 利益率	3,787 48.5%	4,500 47.4%	713	18.5%
その他	売上高	6,972	7,500	528	7.6%
	営業利益 利益率	186 2.7%	300 4.0%	114	61.3%

※上記各セグメント営業利益の合計額に連結消去等の調整をした結果が損益計算書の営業利益となります。

※不動産の売上高、営業利益には物流施設の流動化金額を含みます。

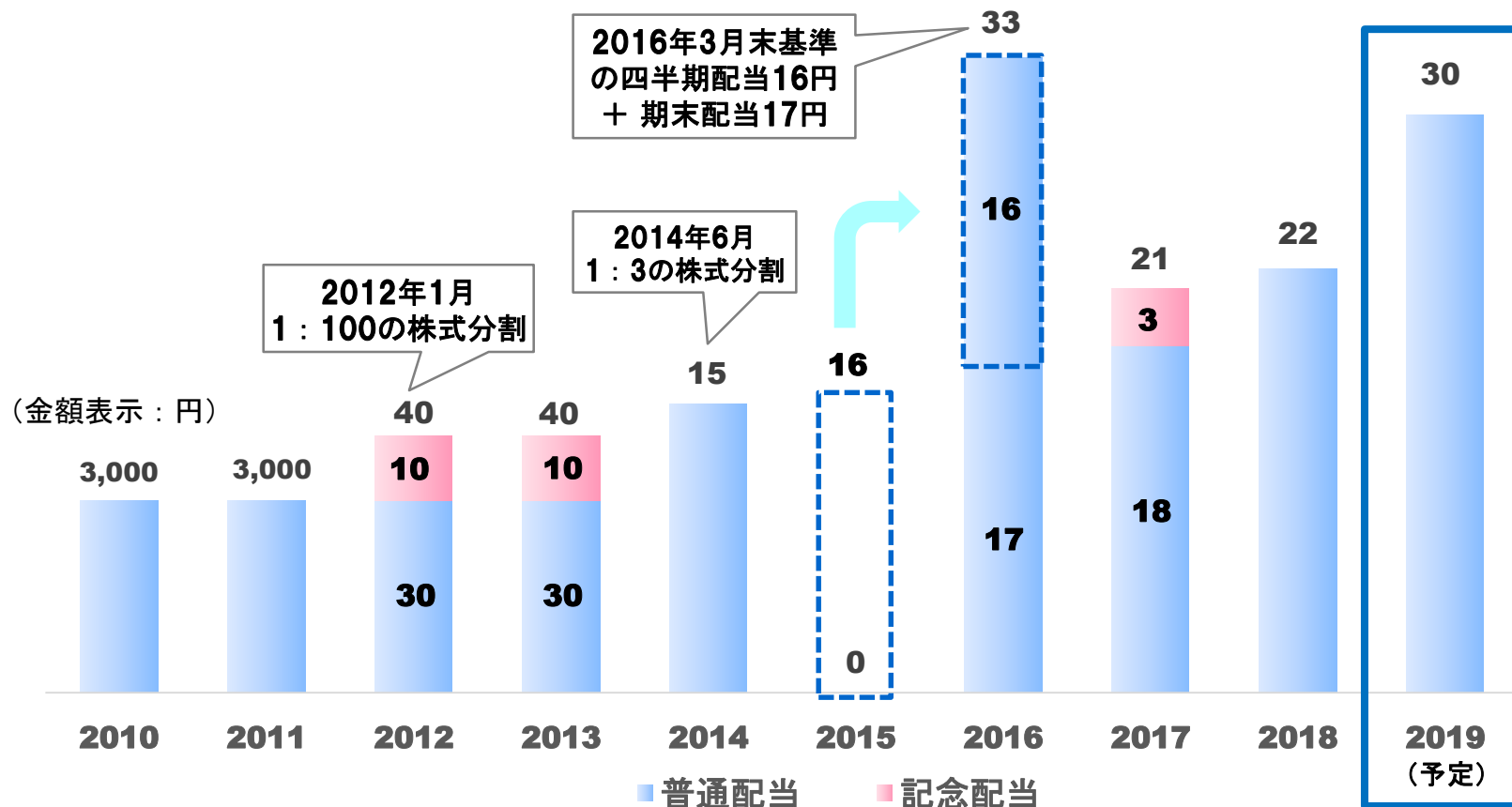
※2019年の調整額は△75百万円、2020年の調整見込額は△200百万円です。

※予想値は2020年2月10日に発表したものです。

株主還元 [1株あたり配当金の推移]

1株あたり配当は過去10年で実質3倍と、株主還元を強化

※ 2010年を基準年として増減を表示



2020年度 グループ経営について

代表取締役社長 鎌田 正彦

スローガン

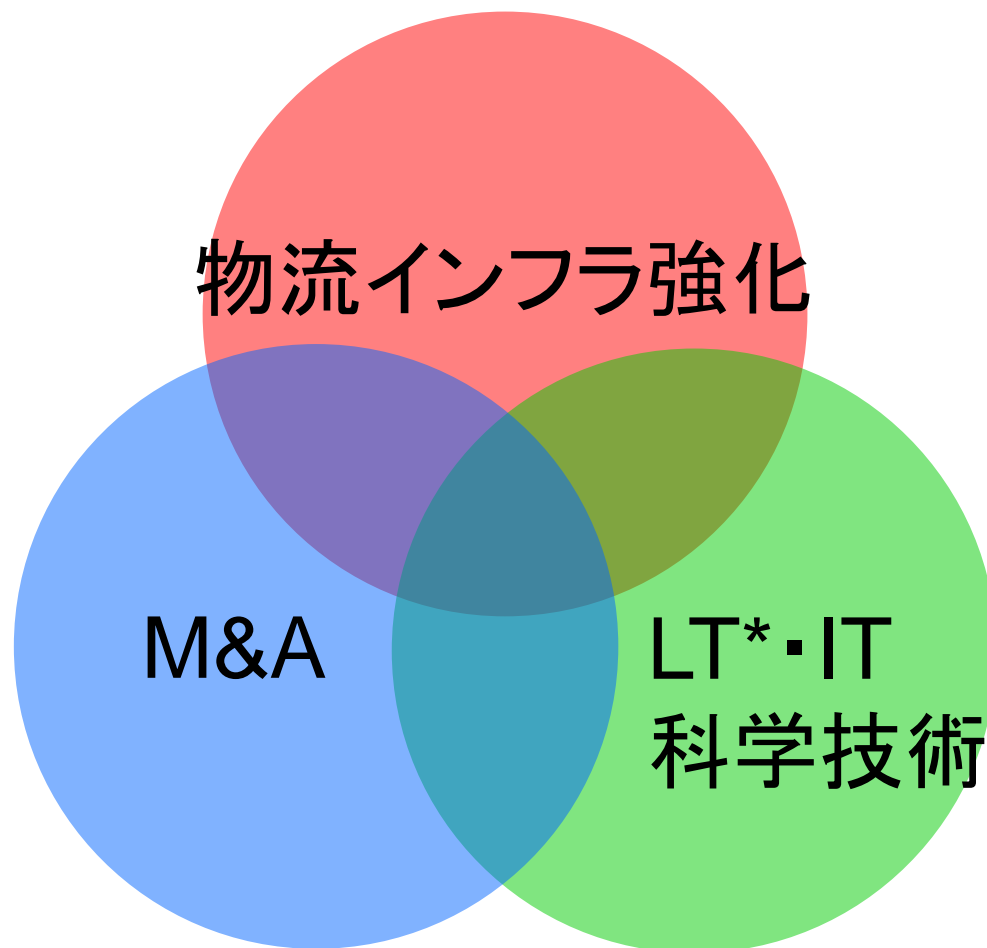
飛翔

融合と機能強化をさらに進めグループ一丸となって
厳しいロジスティクス業界においてより高みをめざし、
飛び立つ年にする。

方針(抜粋)

- 国内物流企業のトップティアを目指す
- グループ融合の更なる推進と機能強化

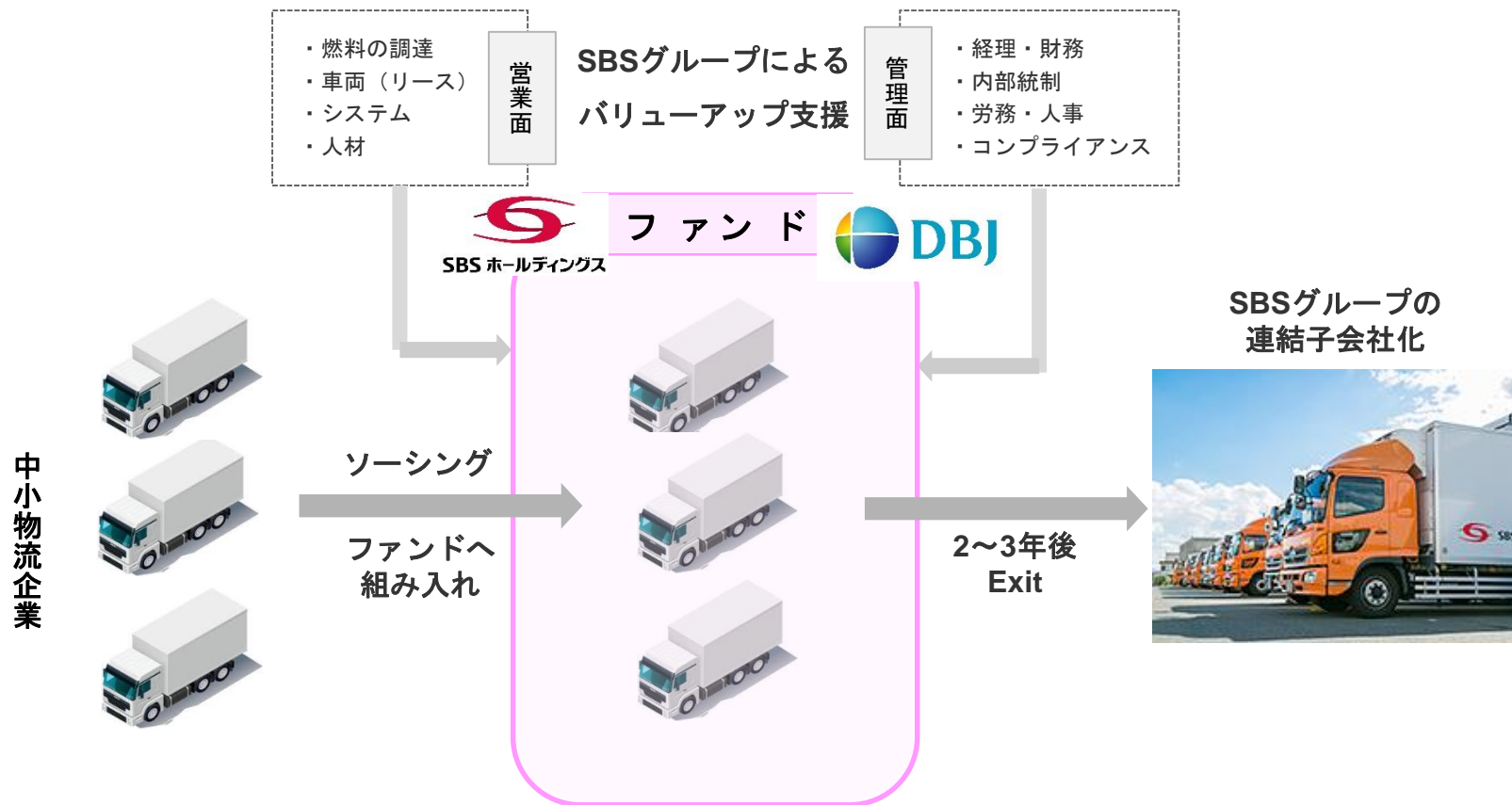
国内物流企業としてトップティアを目指すための戦略



LT : Logistic Technology

名称：日本物流未来投資ファンド

物流企業の後継者難、運転手をはじめとする人手不足により国内の物流インフラの弱体化が懸念される中、当社グループとしてファンドを組成して中小物流企業支援を施すことで、持続的成長に向けたネットワークの維持、強化を図る。



グループ所有物件



2019年3月

■ 大阪物流センター

- 4階建
18,540坪
(稼働中)



2021年

■ 横浜金沢

- 4階建
15,430坪
(2020年2月着工)



2023年

■ 野田瀬戸PJ

- A棟 4階建
40,000坪
(2021年着工予定)
- B棟 4階建
35,000坪
(2022年以降着工予定)

一棟借り物件



2020年3月(予定)

■ 城南島

- 4階建
約8,000坪
- ドライ 5,300坪
- 定温庫 2,200坪



2020年秋

■ 横浜幸浦

- 4階建
約10,300坪

■ 配送網の充実 グループリソースを相互活用・機能強化

グループ各社の得意業務を中心としてグループ各社の力を発揮

- 精密部品・機械部品 海外物流 SBSリコーロジスティクス
- 総合物流 SBSロジコム
- 食品 SBSフレック
- BtoBラストワンマイル SBS即配サポート



■ BtoCへの参入

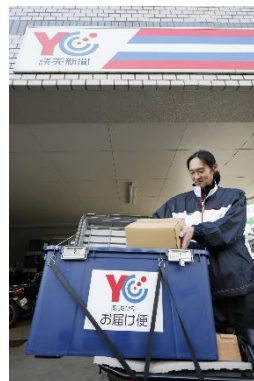
● SBS即配サポート

➢ 1都3県配送網の拡充

➢ 異業種とのコラボレーション

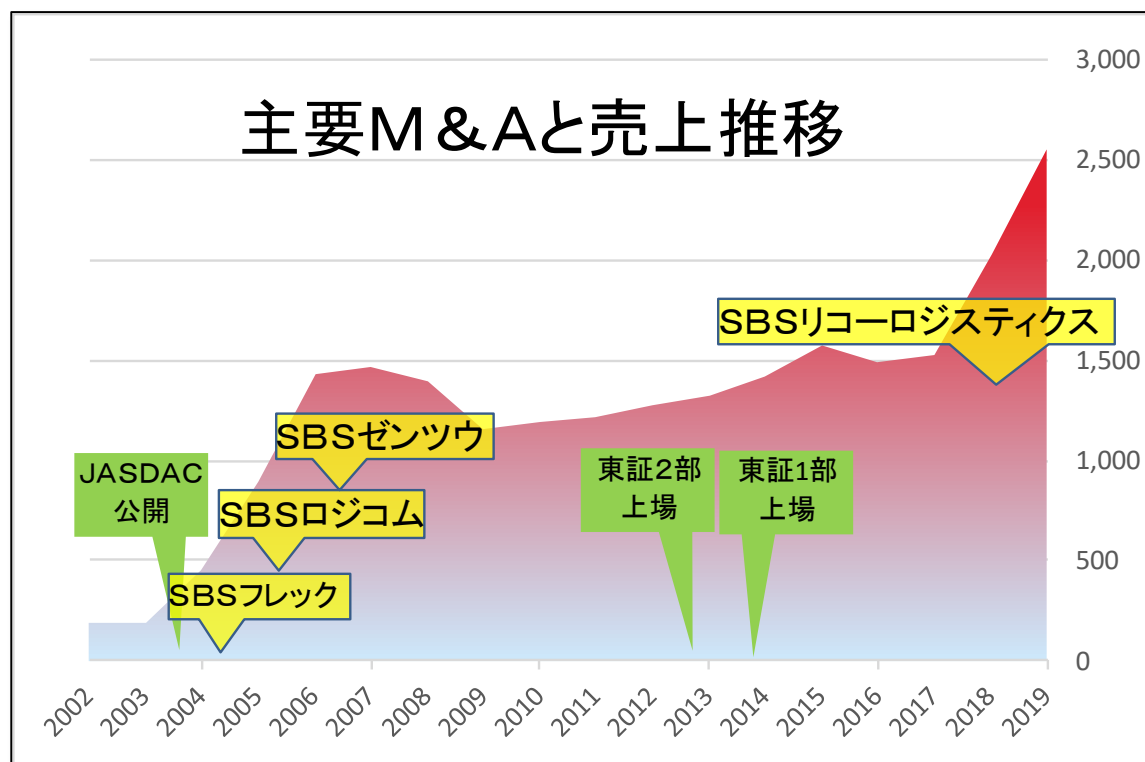
読売新聞社との共同事業配送網「YCお届け便」

- 2019年 6月 (一部エリア限定でビジネスを開始)
- 2019年11月 (都内3区への運用拡大)
- 2020年 7月 (都内23区へ展開)
- 2020年11月 (サービス内容の拡充)



■ 非連続成長を目指す

- グループ規模の拡大
- 提供サービスの多様化
- グループ入りした企業とのシナジー増進



■ 東京大学との産学協同

- 東京大学先端科学技術研究センターに
先端物流科学寄附研究部門を設置
 - 物流3社の資金サポートで
ビッグデータ、AI・IoT、ブロックチェーンなど
新技術を活用する高度物流人材を育成

井村特任教授、西成教授

- SBSのねらい

- 理系人材確保
- 社内人材レベルアップ



東京大学先端科学技術研究センター

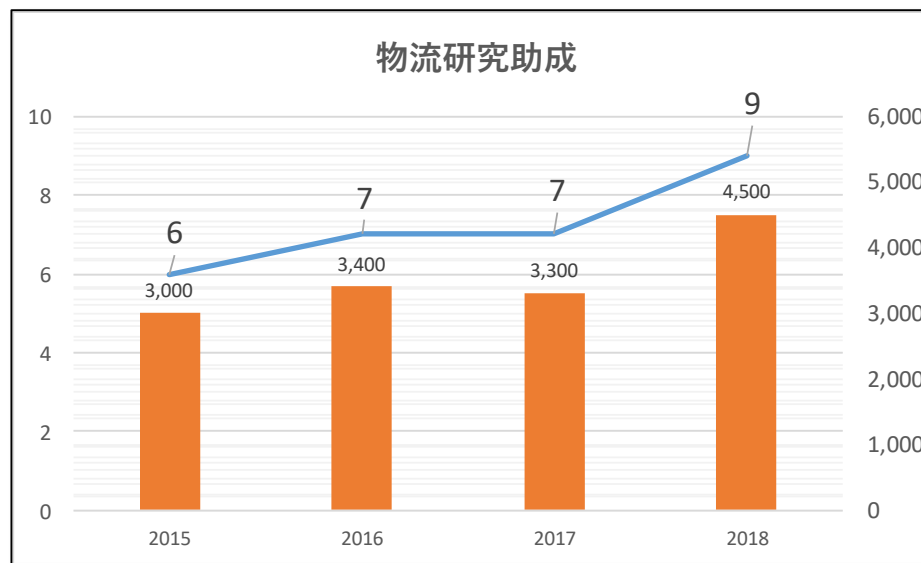


■ LT・IT部門の事業領域拡充

- SBSリコーロジスティクスとSBSロジコムとの融合による次世代物流施設の開発

■ 鎌田財団による大学研究助成

- 物流の学術研究を支援
- 研究者助成数推移（大学在籍研究者への助成）



■ 2019年6月 本社機能の移転(五反田→オリナスタワー)

- 経営、営業コミュニケーションの効率化

■ 倉庫拡大・増設

- 福岡、名古屋

■ リソース相互利用

- 倉庫、車両、構内作業

■ 海外拠点の統合

- 統合してSBSリコーロジスティクス傘下へ
 - 香港・ベトナム・タイ



SBS GROUP

For Your Dreams.